

学校だより



みなみたなか

平成24年3月21日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

修了式・卒業式を控えて…一年間ご支援有り難うございました

校長 梶谷 雅弘

いよいよ今年度も明日の修了式、明後日の卒業式を残すばかりとなりました。

今年度も、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜りまして誠に有り難うございました。

本校の教職員は、皆様方のご支援によりまして、日々の教育活動に全力投球をして児童の指導にあたる事が出来ました。重ねて皆様に御礼申し上げます。

4月当初は、大震災の直後ということもあり、余震や計画停電が心配され、その対応に負われてのスタートとなりました。被災地域の日でも早い復興を願いながら、今、自分たちに出来ることは何かと問いながらの毎日でした。

そんな中、開級二年目の「みなみ学級」は、1学級増の2学級でのスタートとなりました。来年度は、18名3学級となります。これは、地域から大きな評価を得ている証しです。

みなみ学級と各学年との児童が一緒になって練習に取り組んだ5月の運動会では、保護者の皆様に組み体操の安全面での応援も頂きました。運動会当日は、日頃の練習の成果を十二分に発揮し保護者・地域の方と一体となって感動的な時間を過ごすことが出来ました。

11月には、東京都教育委員会より「健康づくり優良校」として表彰されました。また、よむよむ隊の皆様には、長年の学校教育への貢献に対し「感謝状」が贈呈されました。

保護者・地域の皆様のご支援があったればこそその二つの受賞でした。心より感謝申し上げます。

12月の展覧会では、岩田教諭・野村教諭・竹内教諭が中心となり指導にあたってきましたが、児童一人一人が、精一杯取り組んだ作品の数々を保護者・地域の方々にお見せすることが出来ました。1日目の朝一番、体育館でご覧になっていた保護者の方が、「どれも素晴らしい作品で感激して涙が止まりません。」とうれしい感想を聞かせてくださった事が鮮明に思い出されます。そして、2月9日には、森PTA会長を始め大勢の保護者の皆様にお手伝いを頂き、3年間にわたって地道に研究を進めてきた成果を、全国各地から372名の皆様にお越し頂き披露することが出来ました。参観者からは、非常に高い評価を頂きました。

「各学級で授業に取り組む児童の姿を通して、研究成果を発表していこう。」を合い言葉に準備を進めてきた甲斐がありました。発表会を終え児童も教員も充実感で満たされました。

アンケートの中には、「あれだけの素晴らしい6年の授業を若い先生が行っているのを拝見しとても勉強になりました。」「地域・保護者の皆さんから温かい支援を得て発表会が開催されていることがよくわかりました。素晴らしい学校ですね。」と記入して下さった方もいらっしゃいました。授業の質の高さを評価して下さったり、地域から愛されている学校だと実感して下さったりした方々が、大勢いらっしゃったことを、とても有り難く誇りに思っています。

3月6日には、これまで、最上級生として全校児童をリードしてき6年生に感謝をしようと、「6年生を送る会」を開催しました。大勢の6年生の保護者の皆様にも参加していただき、心温まる感動的な時間を過ごすことが出来ました。

最後には、6年生が素晴らしい「栄光の架け橋」の演奏を披露しました。

この6年生は、40人1学級という人数の面では、非常に厳しい学習環境にありましたが、担任の清水教諭を中心にお互いのよさを認め合い高め合おうと日々切磋琢磨してきました。研究発表会での公開授業の質の高さは先ほど紹介しましたが、学級の素晴らしさは、卒業文集の児童の作文にもよく表現されていました。友達の有り難さや素晴らしさを多くの児童が書いていました。



在校生へのお礼に栄光の架け橋を演奏する6年生

在校生は、その6年生の後ろ姿を目に焼き付け、本校の伝統を引き継ぎ、さらに発展させてくれるものと期待をしています。そんな6年生に最高の卒業式をプレゼントしようと、4年生5年生が卒業式の練習に臨んでいます。23日の卒業式を楽しみにしています。

保護者の皆様には、この一年間、温かいご理解とご支援を賜り有り難うございました。

